

伊予高校 図書館だより Library News 2025.1



君のお金は誰のため
田内学 著 東洋経済新報社

「お金の正体」と「社会のしくみ」を小説の形で教えてくれる本です。難しいお金と社会の関係がドーナツを買うたとえ話などで語られていて楽しく読めました。また、登場人物たちがお金や社会について学ぶ中で抱く複雑な気持ちについてはいろいろと考えさせられました。(203 図書委員)



ユニコーンレターストーリー
北澤平祐 著 ホーム社

幼なじみのハルカとミチオが日本とアメリカの間で続ける手紙のやりとりで構成されています。10歳から大人になるまでが、その年齢らしい言葉遣いで書かれており、読んでいて微笑ましかったです。手紙を書いているときの様子がイラストで描かれており、場面を簡単に想像でき、楽しめました。(203 図書委員)



ガールズ・ルール：愛され女子でいるには キャンディス・ブシュネル 著 ケイティ・コトゥーニョ 著 三辺律子 訳 静山社

性被害を受けながらも泣き寝入りせず行動に移す主人公マリンの強さにとても感動しました。理不尽な理由で悪者にされてしまうこともある現実社会で、どう自分を守ればいいのか考えさせられる話でした。(102 図書委員)



努力は仕組み化できる
山根承子 著 日経BP

努力には人それぞれのとらえ方があり、無駄だと思う人や運だと言ってしまう人がいる。そういう人にぜひ読んでもらいたい本です。努力を続けるための簡単なコツなどが書いてあり、やる気が出ると思いました。(104 図書委員)



いずれ死ぬ君のために
方丈海 著 KADOKAWA

恋愛からホラーまでSNSに投稿された140字の短編小説には、人の想像の裏をかくオチもあり、感動を味わいながら読み進めることができました。そして、これらの小説の作者を父親ではないかと考える女性の話が進んでいくのも面白い。(204 図書委員)



青春サプリ。きみの背中を見ている
日比野恭三・オザワ部長・近江屋一郎・菊池高弘 著 くじょう絵 ポプラ社

青春サプリシリーズの最新刊。全て実話で、高校の部活動の話です。心情がよく伝わってきて、自分もこんな風に頑張ろうという思いが湧いてきました。特にテニス部の話が心に残っており、テニスの全国大会を生徒が運営していることに驚きました。(101 図書委員)

ここに紹介した以外にも、『ブルーピリオド』16巻、『日経キーワード』2025-2026も蔵書に加わりました。ぜひ手に取ってみてください。

伊予高校でよく読まれている本
(令和6年4月～12月)

『空飛ぶタイヤ』上	池井戸 潤
『怪盗フラヌールの巡回』	西尾 維新
『すべての恋が終わるとしても 140字の恋の話』	冬野 夜空
『小説ちはやふる 上の句』	末次 由紀/原作
『変な絵』	雨穴
『薬屋のひとりごと』9	日向 夏

HRごとの貸出冊数ランキング
(令和6年4月～令和7年1月22日)

1位	104HR	357冊
2位	103HR	271冊
3位	105HR	225冊
4位	101HR	208冊
5位	204HR	204冊
6位	301HR	153冊
7位	102HR	145冊